



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場会社名 株式会社マルハニチロホールディングス
コード番号 1334 URL <http://www.maruha-nichiro.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久代 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 川 文人

TEL 03-6833-0826

四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	202,850	△0.5	6,148	25.5	6,175	32.7	2,654	△16.2
23年3月期第1四半期	203,772	1.4	4,897	138.8	4,655	123.8	3,168	67.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,826百万円 (45.4%) 23年3月期第1四半期 2,632百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.22	4.89
23年3月期第1四半期	6.16	5.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	479,043	73,649	12.7
23年3月期	474,281	71,671	12.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 60,847百万円 23年3月期 58,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	398,000	△1.8	6,300	△23.0	5,400	△14.1	2,000	△9.7	3.94
通期	825,000	0.2	14,000	△19.6	11,500	△23.8	4,000	10.9	7.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	510,024,159 株	23年3月期	508,574,884 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	375,303 株	23年3月期	371,184 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	508,440,816 株	23年3月期1Q	508,233,712 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一種優先株式					
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が減少し、企業収益も下押しされるなど、景気は厳しい状況で推移しました。

当社グループ関連業界のうち、水産・食品業界におきましても、消費動向は弱い動きとなり、デフレ状況にありました。

このような状況のもとで、当社グループは震災で被害を受けた事業施設の復旧に取り組み、一定の目処を付けることができました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、効率的な販売及び固定費の削減などに努めた結果、売上高は202,850百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は6,148百万円（前年同期比25.5%増）、経常利益は6,175百万円（前年同期比32.7%増）、四半期純利益は2,654百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

水産事業

水産セグメントは、国内外の漁業・養殖事業、すりみの生産販売を中心とした北米事業、海外調達ネットワークを持つ水産商事事業、市場流通の基幹を担う荷受事業、市場外流通を受け持つ戦略販売事業から構成され、国内外の市場動向を注視しながらお客様のニーズに対応した加工事業の推進と効率的な仕入れと販売を行い、収益の確保に努めました。

漁業・養殖事業では、漁撈事業はカツオ漁が低調であったものの、日本海マグロ・マグロはえ縄・メロ・カニ漁業の好漁により大幅増益、養殖事業も、マグロの魚価上昇により増益、全体でも大幅な増益となりました。

北米事業では、カニの高値での好調な販売により増収なるも、ベーリング海スケソウダラ漁獲枠の大幅増枠（5割増）によりすりみの単価が下落、助子の搬入遅れ・買付数量減・販売時期の後倒しにより減益となりました。

水産商事事業では、サケ、カニ、ウナギ等を中心に堅調な販売が進み増収増益となりました。

荷受事業では、引き続き取扱量の減少に歯止めがかからないなか、経費削減により、減収増益となりました。

戦略販売事業では、量販・生協向け鮭鱒や凍魚の切り身関係の販売が好調に推移すると共に、外食・中食業態向け新規取引先の開拓が進み、増収増益となりました。

以上の結果、水産セグメントの売上高は127,615百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は3,379百万円（前年同期比61.0%増）となりました。

食品事業

食品セグメントは、市販用及び業務用冷凍食品の製造・販売を行う冷凍食品事業、缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート・ペットフードなどの製造・販売を行う加工食品事業、畜産物及び飼料を取り扱う畜産事業、化成品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成品事業並びにアジア・オセアニア事業から構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

冷凍食品事業は、冷凍野菜が堅調に推移したものの、東日本大震災により石巻、仙台の生産拠点が甚大な被害を受けて生産停止を余儀なくされたことが大きく影響し、減収減益となりました。

加工食品事業では、仙台の練製品工場が震災の被害で製品を出荷できない期間がありましたが、保存が利き簡便な調理で食べられる缶詰への需要が高まったことや果肉入りゼリーの販売が好調に推移したことなどから、増収増益となりました。

畜産事業においては、食肉事業を中心に営業力強化を図り増収となりましたが、原料価格の上昇を受け、利益幅が圧縮されたことにより減益となりました。

化成品事業では、震災により宇都宮、石巻、仙台の生産拠点が被害を受け生産不能に陥る製品もありましたが、一部のバイオ関連製品において、ユーザーの在庫積み増し並びに節電対応のための前倒し生産等の震災に起因する需要増に応えた結果、減収ながら増益となりました。

アジア・オセアニア事業では、日本向け、米国向け売上げが好調で増収傾向にあり、原材料価格と人件費の上昇はあるものの増益となりました。

以上の結果、食品セグメントの売上高は70,222百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は3,300百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

保管物流事業

お客様の物流コスト削減による在庫圧縮の傾向が続くなか、水産物をはじめ畜産品や冷凍食品の集荷営業活動を行いました。

入庫数量は前年同期より増加し、出庫数量が入庫数量に比べて少なかったため、当四半期末の保管在庫数量は前年同期末より増加いたしました。

輸配送事業や通関事業などの周辺事業もほぼ順調に推移し、保管物流セグメントの売上高は3,637百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は293百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は479,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,762百万円増加いたしました。これは主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

負債は405,393百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,783百万円増加いたしました。これは主として仕入債務の増加によるものであります。

少数株主持分を含めた純資産は73,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,978百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は、順調に推移しておりますが、電力供給の制約や原子力災害及び原材料高騰などによる景気の悪化が懸念されるため、平成23年6月6日に公表しました平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,492	16,195
受取手形及び売掛金	89,224	96,451
有価証券	35	35
たな卸資産	110,122	115,405
その他	20,837	18,625
貸倒引当金	△853	△758
流動資産合計	238,859	245,954
固定資産		
有形固定資産		
土地	60,711	60,726
その他(純額)	76,621	76,388
有形固定資産合計	137,333	137,115
無形固定資産		
のれん	19,629	19,411
その他	7,251	7,217
無形固定資産合計	26,881	26,629
投資その他の資産		
投資有価証券	28,051	28,091
その他	54,667	53,127
貸倒引当金	△11,511	△11,875
投資その他の資産合計	71,207	69,343
固定資産合計	235,421	233,088
資産合計	474,281	479,043
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,571	34,660
短期借入金	189,829	197,142
未払法人税等	3,200	792
引当金	3,258	2,612
その他	31,283	34,663
流動負債合計	256,143	269,871
固定負債		
長期借入金	108,973	99,682
退職給付引当金	26,564	26,908
その他の引当金	438	423
その他	10,490	8,507
固定負債合計	146,466	135,522
負債合計	402,610	405,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,000	31,000
資本剰余金	31,699	31,699
利益剰余金	8,190	9,180
自己株式	△64	△64
株主資本合計	70,826	71,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,130	△2,282
繰延ヘッジ損益	△24	△14
為替換算調整勘定	△9,697	△8,670
その他の包括利益累計額合計	△11,852	△10,967
少数株主持分	12,697	12,802
純資産合計	71,671	73,649
負債純資産合計	474,281	479,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	203,772	202,850
売上原価	174,800	173,018
売上総利益	28,971	29,832
販売費及び一般管理費	24,074	23,683
営業利益	4,897	6,148
営業外収益		
受取配当金	667	545
雑収入	461	738
営業外収益合計	1,128	1,283
営業外費用		
支払利息	1,086	960
雑支出	284	297
営業外費用合計	1,370	1,257
経常利益	4,655	6,175
特別利益		
固定資産売却益	17	17
その他	133	9
特別利益合計	150	27
特別損失		
災害による損失	—	668
その他	238	85
特別損失合計	238	754
税金等調整前四半期純利益	4,567	5,448
法人税等	1,051	2,612
少数株主損益調整前四半期純利益	3,516	2,835
少数株主利益	347	180
四半期純利益	3,168	2,654

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,516	2,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,618	△155
繰延ヘッジ損益	1	10
為替換算調整勘定	689	1,036
持分法適用会社に対する持分相当額	43	100
その他の包括利益合計	△883	990
四半期包括利益	2,632	3,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,086	3,539
少数株主に係る四半期包括利益	546	286

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	129,166	68,743	3,562	201,471	2,300	203,772	—	203,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,570	1,525	1,264	7,360	126	7,487	△7,487	—
計	133,737	70,268	4,826	208,832	2,427	211,259	△7,487	203,772
セグメント利益	2,099	3,393	209	5,702	127	5,829	△932	4,897

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業、包装梱包機等の製造販売業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△932百万円には、セグメント間取引消去139百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△1,071百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	127,615	70,222	3,637	201,475	1,374	202,850	—	202,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,100	1,486	1,288	7,875	104	7,979	△7,979	—
計	132,715	71,709	4,926	209,351	1,478	210,830	△7,979	202,850
セグメント利益	3,379	3,300	293	6,974	118	7,092	△943	6,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△943百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△963百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。